

令和7年度 子ども大学みやしろ

1. 実施体制

子ども大学みやしろ	学長	桑野 文洋（日本工業大学先進工学部データサイエンス学科長・教授）
	副学長	なし
子ども大学みやしろ実行委員会	実行委員長	瀧ヶ崎 隆司（日本工業大学生涯学習センター長、共通教育学群教授）
	実行委員 （関係団体）	宮代町教育委員会、日本工業大学
	問合せ先	電話：0480-34-1111（内線435） FAX：34-4152 メール：gakusyu@town.miyashiro.lg.jp

2. 事業内容

開催回数	5回	開催期間	令和7年9月7日～令和7年11月30日			
参加者数	39名	内訳	小学4年生	16名		
			小学5年生	15名		
			小学6年生	8名		

3. 実施内容

1 日目	開催日時	9月7日（日） 10:00～12:00	
	会場	日本工業大学	
	講義名	LEDを光らせるアプリを作成してみよう！①	
はてな学	講師	日本工業大学 教授 桑野 文洋 宮代町立百間中学校栄養教諭 大海 康輔 宮代町立笠原小学校栄養教諭 神田 莉果	
			アプリを使用し、LEDを光らせる様子
2 日目	開催日時	9月20日（土） 9:30～11:30	
	会場	福祉交流館 すてっぷ宮代	
	講義名	宮代今昔クイズと勾玉づくり	
ふるさと学	講師	宮代町立郷土資料館 文化財保護担当 河井 伸一	
			宮代町で出土した勾玉を見る様子

3. 実施内容

3 日目	開催日時	10月19日（日） 9：30～11：30	
	会場	福祉交流館 すてっぷ宮代	
	講義名	食べて生きよう 災害料理教室	
生き方学	講師	宮代町赤十字奉仕団	
	開催日時	11月9日（日） 9：30～11：30	
はてな学	会場	日本工業大学	
	講義名	SDGsチャレンジ “学んで作って未来を変えよう”	
	講師	日本工業大学 学生環境推進委員会	
			ハイゼックス炊飯袋でご飯を炊く準備をする様子
			日工大生とともにソーラー電池の電流測定をする様子

3. 実施内容

5 日目	開催日時	11月30日（日）		
		9：30～11：30		
は て な 学	会場	日本工業大学		
	講義名	LEDを光らせるアプリを作成してみよう！②		
	講師	日本工業大学 教授 糸野 文洋		
				プログラミングで動く画面の中の亀を使って、絵を描く様子。

4. 参加者の声

<p>参加した子供の声（感想）</p>	<ul style="list-style-type: none">・ひじょうしょくの作り方やまがたまの作り方がわかりました。またさんかしたいです。・まがたま作りでは知らない宮代の知しきがわかりました。災害料理教室ではチラシでお皿がつくれるなんてやべーと思いました。SDGsの授業では地球温だん化のことに考えさせられました。LEDライトではむずかしかったけど、きょうみがわきました。・とてもみなさんがやさしくやってくださりありがたいです。大学は広かったけれど案内してくれてありがたいです。・初めて体験してみてもは教えてくれないプログラミングのことや災害食の作り方など生活に活かせることが出来てよかったです。・学校ではならわないことを教えてもらうことができた。・楽しくいろいろなことを学ぶことが出来ました。・どの講義でもとてもわかりやすく説明してくれたので意味がわからないまま進むこともなくスムーズに進めてくれてうれしかったです。・知らなかったことをたくさん知れてよかったです。私は子ども大学で教えてもらったことをもっと調べたいなと思いました。・学校でおしえてもらえないことやプログラミングをおしえてもらえてうれしかったしワクワクドキドキしました。またらい年も参加したいです。・5.6年生になるとパソコンを使う授業が増えるのでそれに活かそうと思った。・子ども大学に参加してみて、調理実習やまがたまづくりが楽しかったです。ちらしで皿をつくれることを知ったときに「そうなんだ！」と思いました。災害が起きた時もあんなにおいしいのを食べれるんだなと思いました。・学校ではないおもしろいことがたくさんできて良かったです。
<p>保護者の声（感想）</p>	<ul style="list-style-type: none">・毎回楽しく受講していました。最後だけインフルエンザになってしまったので、欠席が残念でした。子どもにとっていい学びの機会になりましたし、このような機会を作ってくれた関係者の方に感謝しています。ありがとうございました。・毎回、楽しく講義を受けていました。料理を作ったり色々な講義があり、とても楽しそうでした。ありがとうございました。・子ども達に、なかなか出来ない経験の場を与えて頂きありがとうございます。自分で考えて、自分で動くということが大事になっていく中で経験は宝物だと思いますのでこの様な機会は大変ありがたいです。こういった機会があると大学で学ぶということ自体も身近になり、将来に向けての選択肢も自然と増えるので本当に感謝しております。・勉強して、大学進学とか言っても、普通の生活をしていて、大学ってなんなのかを実感できるチャンスはなく、実際に施設を使って、先生がこんな感じと教えてくれるのは将来像を描くのにとってもいいチャンスで、世界が広がる一助になると思う。1500円という費用で、こんなチャンスを与えてもらえるのはとても良い取り組みだと思います。・学校ではできない、貴重な体験をたくさんさせて頂きありがとうございました。日本工業大学に入れたり、実際に調理してみたり、子供がとてもイキイキしていたのが印象的です。来年も企画があれば、ぜひ参加したいです。ありがとうございました。